



# 大阪重粒子線センター開院

大阪重粒子線施設管理株式会社

第26期 2017年4月1日▶  
2018年3月31日

# 株主通信



シップヘルスケアホールディングス株式会社

生命を守る人の環境づくり

証券コード：3360

マネジメントメッセージ

# 『成長』と『進化』はとまらない



代表取締役会長 CEO

古川 國久



代表取締役社長 COO

小川 宏隆

グループ理念

# SHIP

Sincere (誠実な心)   Humanity (「情」の心)   Innovation (革新者の気概)   PartnerSHIP (パートナーシップ精神)

グループミッション

生命を守る人の環境づくり

基本姿勢

し   せい   そく   だつ  
**至 誠 惻 怛**

「至誠」はまごころ、「惻怛」はいたみ悲しむ心を表し、この心を兼ね備えて生きることが人間としての生きる基本姿勢であり、当社グループの基本姿勢です。

2018年 スローガン

## 新 陳 代 謝

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、1992年の創業以来、SHIP理念経営の下、お客さま、株主さま、社員をはじめとするみなさま方に支えられ成長してまいりました。現在では、医療機器・設備業界を代表する企業集団に育ち、2018年3月期の連結業績も過去最高収益を達成することが出来ました。長期目標である連結売上高1兆円を具体化するため、昨年(2017年11月10日)、中期経営計画「SHIP VISION 2020」を策定し、本年4月1日より同計画に基づく施策をスタートさせております。これからの成長ドライバーとしての第五の柱「ヘルスケアサービス事業」を立ち上げるとともに、持続的成長を叶える戦略・施策を加速してまいります。

現在、当社グループを取り巻く環境は、より効率的で適切な医療機能の提供や医療と介護の連携推進、IT技術の活用や技術革新、異業種からの参入などによる新しい最先端医療への対応、診療報酬・介護報酬のダブル改定などにより厳しい経営環境にある医療機関へのコスト対応など、従来状況を揺るがす大きな変革が訪れています。この大きな変革の時代に勝ち残っていくためには、業界での主導権をとれる規模と機敏に動ける筋肉質な企業体質が求められます。

2018年のグループスローガンを「新陳代謝」としております。業界環境が大きく変化する中、これまでの成長率を維持しながら、新しい顧客を開拓し、絶えず新しいビジネスを開発し、次世代の人材を育て、スピード感を持った改革=新陳代謝を繰り返すことで、持続的成長を成し遂げてまいります。グループ規模が50社を超えるいま、大企業病に罹ることなく社員一人ひとりが経営者意識を持ち、全員経営を推し進めてまいります。我々は、“生命を守る人の環境づくり”を行う社会的責任ある立場の企業として自覚と誇りを持ちながら、「理念経営集団」として、中期経営計画を礎に次なる成長を目指してまいります。

株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 中期経営計画「SHIP VISION 2020」がスタート

## 業績について

### 当期純利益、100億円を突破

当期の状況といたしましては、トータルパックプロデュース事業において、海外子会社や重粒子線治療施設の立ち上げに係る費用を計上したものの、プロジェクト案件が順調に進捗するとともに、下期から機器更新需要が回復いたしました。また、継続的なカイゼン活動の効果、ライフケア事業における入居率の改善、調剤薬局事業における収益力の向上などが業績に寄与いたしました。この結果、売上高は前年同期比4.2%増の4,255億円となりました。また、収益面につきましても各セグメントで増益を達成し、営業利益が13.7%増、親会社株主に帰属する当期純利益が10.0%増となりました。なお、1株当たり配当金につきましては、前期より4円増配の64円とさせていただきます。現在、2018年度より中期経営計画がスタートしており、その最終年度におきます目標値の達成に全力を尽くしてまいります。

## 業績結果

(単位：百万円)

	2017/3	2018/3	増減率	期初予想 (2017年5月12日発表)
売上高	408,487	425,566	4.2%	425,000
営業利益	16,055	18,259	13.7%	16,900
経常利益	16,478	18,935	14.9%	17,100
親会社株主に帰属する当期純利益	9,410	10,350	10.0%	10,000
1株当たり配当金(円)	60.0	64.0	4.0円	61.0
<b>10期連続増配中</b>	(内記念配当 4円)	配当性向 31.3%		

※2018年3月期の1株当たり配当金は、前期の記念配当4円を除いた場合8円の増配となっております。

## 中期経営計画のアウトライン

### 高成長の持続と成長を支える経営基盤の強化

当社グループは、本計画策定以前においても、長期目標達成に向けて様々な戦略・施策を立案・実施してまいりました。こうした中、本計画の位置付けと意義は、今までに展開されてきた戦略・施策を体系化すると同時に、グループ全役職員の共有する目標として掲げたことにあります。また、同計画の戦略・施策は、計画最終年度の目標数値達成への具体的施策と長期目標を睨んだ経営基盤の強化策で組み立てられております。当社グループは、「SHIP VISION 2020」の目標数値必達を期すとともに長期にわたる企業価値向上の礎を築いてまいります。具体的な展開といたしましては、売上高5,000億円、営業利益210億円を目標として、下記4点の重点施策を中心に高成長の持続と成長を支える経営基盤の強化、持続的成長力の構築とガバナンス・リスク管理の強化、働き方改革などを推進してまいります。

## 目標

2020年度
連結売上高
<b>5,000</b> 億円
連結営業利益
<b>210</b> 億円

## 重点施策

1	コア事業の更なる高成長
2	第五の事業領域 ヘルスケアサービス事業の構築
3	積極的なM&A展開
4	株主還元強化

## 具体的展開

### 変化を先取りし、改善・改革を進める

重点施策に掲げる「コア事業の更なる高成長」において、トータルパックプロデュース事業(TPP)では、地域全体を包含する医療構想に対応する知見・ノウハウの獲得を加速しております。また、メディカルサプライ事業(MSP)においては収益力の向上に努めると同時に、商品マスタの統一、基幹物流センター及び基幹情報システムの構築を進めてまいります。「第五の事業領域ヘルスケアサービス事業の構築」においては、既にその基幹の一つとなる大阪重粒子線センターが2018年3月に開院。また、Bangladeshをはじめとするアジア地域での取り組みなど、海外事業も順調に進展しております。さらに、「積極的なM&A展開」による業容拡大を加速しております。「株主還元強化」につきましては、業績と連動した着実な増配に加え、自己株式取得を実施しております。一方、経営基盤の強化におきましては、グループ会社数が増えていく中、規律ある経営の徹底を図ると同時に、根底施策としてSHIP理念の通徹を進めております。

## 2018年度のセグメント別ポイント

TPP事業	長期・大型化の傾向への対応強化
MSP事業	経営効率改善に取り組み、収益力を強化
LC事業	入居率の高水準維持
PH事業	効率改善と新規M&Aの推進

# トピックス

## 大阪重粒子線センター開院

「切らずに治す、がん重粒子線治療」今秋、大阪で始まる

当社グループが進めてまいりました重粒子線がん治療施設「大阪重粒子線センター」が、2018年3月1日より外来診療を開始いたしました。当施設は、民設・民営として国内初となるもので、最先端の設備を備えています。開院以来、セカンドオピニオンも含め、100名を超える患者様の外来診療を行っており、内50名以上の患者様の重粒子線治療の予約を既に受け付けています（2018年5月25日現在）。

また、開院式が行われました2018年2月17日には、我が国の重粒子線がん治療の普及と発展を目指すことを目的に国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構と大阪重粒子線センターを運営する公益財団法人大阪国際がん治療財団とが包括協定を締結致しました。加えて、隣接する大阪国際がんセンターと連携し、海外の患者様を含め総合的ながん治療を今後目指してまいります。

当社グループは、このような先端医療施設のプロデュースを始めとし、国内はもとより世界へと先進医療の提供に尽力してまいります。

### ロゴマークについて



OSAKAの頭文字Oを表すシンボルマークは、重粒子線の特徴である加速器の回転を表しています。3つの円は、大阪・日本・世界へとOSAKA HIMAKの先進医療が広がる未来を表し、がん治療の進歩と発展への願いが込められています。特徴的なMのかたちは、がん病巣にピンポイントで照射する重粒子線の先進性を表しています。色は大阪府章の色に近い青で、大阪重粒子線センターが、地域に根ざした施設であることを表しています。



開院式典：テープカット



包括連携協定：締結式



治療室

### 重粒子線がん治療とは

最先端の技術による「放射線治療」の一種で、体外からの照射による「切らない」治療法です。

### 重粒子線がん治療の優位性

切らずに、痛みもなく、高齢者にもやさしい治療です。

※照射そのもので痛みや熱さを感じることはありません。  
(公益財団法人医用原子力技術研究振興財団「体にやさしい粒子線がん治療」より)

がんの部分で大きなエネルギーを放出することができるため、正常組織への副作用が少なくなります。

切除できない部位のがんの治療ができる可能性があります。

難治性のがんにも効果が期待されます。

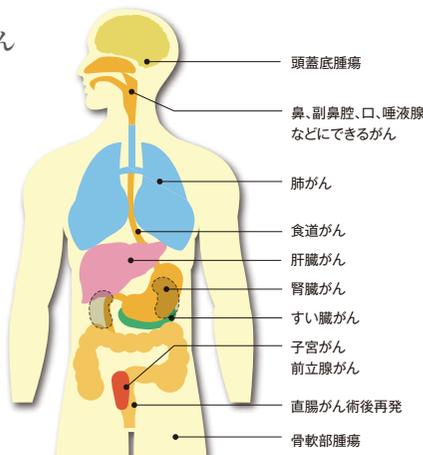
従来の放射線では治療が難しいケースのものにも適用できる可能性があり、優れた治療効果が期待できます。

重粒子線は従来の放射線治療に比べて、治療回数・日数が少なくなります。仕事や日常生活を続けながら外来での治療が可能です。

### 重粒子線で治療できるがん

重粒子線がん治療は、限局性の固形のがん治療に適しています。また、がんの近くにある正常な重要臓器への照射を避けることのできる治療法です。

切除不能な骨軟部腫瘍（骨や筋肉、血管、皮下組織などの軟部に発生する腫瘍）、限局性前立腺癌、頭頸部癌の一部に公的医療保険が適用されます。（平成2018年4月1日時点）



外来受診・治療に関するお問い合わせ先

### 大阪重粒子線センター

住所：〒540-0008 大阪府大阪市中央区大手前3-1-10  
TEL：06-6947-3210  
HP：https://www.osaka-himak.or.jp/

## Bangladesh Project Progress

### 2020 Grand Opening Targeted Construction

2016年2月に調印いたしました Bangladesh の病院建設・運営プロジェクトが順調に進展し、2019年春の一部開業、2020年 Grand Opening に向けて病院建設が進んでおります。同建設は、JICA(独立行政法人 国際協力機構)が策定をサポートした Bangladesh 改訂建設基準法「BNBC2015」(現在法案審議中)に準拠した初物件となる予定です。今、アジアを始めとする多くの国々・地域では、経済発展の下、高度医療に対するニーズが高まっております。当社グループは、この Bangladesh プロジェクトをモデルに、日本式の高度な医療施設運営ノウハウを広く新興国に導入していくことで、海外市場の開拓を進めてまいります。また、このようなプロジェクトの成功には現地の医療技術者が不可欠なことから、人材育成にも協力してまいります。

建設現場風景



完成予定の外観

## Share Buyback Implementation

### 2018年5月11日の取締役会の決議に基づき、市場買付による自己株式取得を実施

2017年11月に発表いたしました「SHIP VISION 2020」では、株主還元強化を重要施策の一つとし、「配当性向30%以上の確保」「機動的自社株買い」を具体的施策として掲げておりました。配当に関しましては、期末配当を64円とし、10年連続の増配と配当性向31.3%を確保しております。また、自社株買いにつきましては、同計画で年間20億円を上限に3か年(中期経営計画期間)に亘り実施する予定でしたが、2018年5月11日の取締役会において計画を一部前倒しで、年間30億円の自己株式取得を決議いたしました。この決議に基づき、自己株式の取得を実施しております。



### 取得の内容

取得した株式の種類	当社普通株式
取得した株式の総数	326,900株(約定日ベース)
株式の取得価額の総額	1,314,771,500円
取得した期間	平成30年5月14日～平成30年5月31日
取得方法	東京証券取引所における市場買付

(注) 平成30年3月31日時点の自己株式の保有状況  
発行済株式総数(自己株式を除く):50,599,132株、自己株式数:235,568株

## 業績改善に向けた取り組み実績

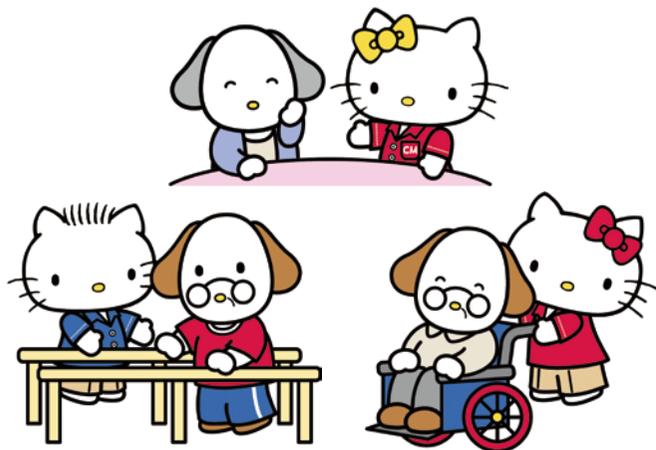
### ハローキティとの コラボレーションを開始

ライフケアグループでキャラクターを活用した  
イメージ戦略を展開



ライフケアグループは、介護サービスのイメージアップと人材の育成、企業認知度向上を図るため、株式会社サンリオとライセンス契約を締結いたしました。

『ハローキティ』が当社ライフケアグループのロゴやグッズに登場。当社ライフケアグループと一緒に介護サービスを盛り上げていきます。



プライベート商品、第1弾低濃度オゾン発生装置「エアネス」

### PB商品「Airness」をグループあげてバックアップ

**Airness** ANS-1601 オゾンでまもる、オゾンがつくる、清々しい空気環境

2016年10月に販売を開始した当社グループのプライベート(独占販売権)商品、第1弾「Airness(エアネス)」の販売をグループをあげてバックアップしております。エアネスは、小型・軽量であるとともに、『コロナ放電』の特許技術を搭載し、ファンを使用せずに『低濃度拡散オゾン』と『マイナスイオン気流』を発生させ、清々しい空気環境を作ります。これらの特長によりエアネスは、医療・保健・福祉・介護などの施設で利用が増えております。近況では、大手医薬品卸との販売提携や、介護施設における設計段階からのスペックイン、さらには展示会への出展など、販売促進を加速しております。当社グループは、空気環境への課題意識が高まる中、空気環境の最適化をお手伝いするエアネスを通じて、『生命を守る人の環境づくり』を実践してまいります。

製品に関する  
お問い合わせ先

シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社

住所: 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央1-7-1

TEL: ☎0120-757-561 (022-375-7561) H P: <http://airness.jp/>



### 日本パナユーズ事業のグループ内連携が進展



#### PB商品第2弾「監視カメラ」をグループ全体で支援

2016年8月に当社グループに参画した日本パナユーズ株式会社(警備事業が中核)の業績改善に向け、事業連携、シナジー発揮に取り組んでまいりました。その結果、同社は、病院・クリニック・調剤薬局・介護施設などへの監視カメラ販売事業を開始します。この監視カメラは、「エアネス」に続く、当社グループのプライベート商品、第2弾となるもので、TPP事業のメーカー系各社製品とのパッケージも模索しております。

製品に関する  
お問い合わせ先

日本パナユーズ株式会社

住所: 〒550-0011 大阪市西区阿波座2丁目4番23号 西本町大五ビル2階 TEL: 06-4394-8742(営業本部) H P: <http://www.jpuc.co.jp/>

#### 特徴

FULL HD高解像度の画質

DCアイリス、  
2.8mm~12mmメガピクセルレンズ搭載

3D-DNR

低照度環境では、3D-DNRを使って、ノイズを取り除くことによって、暗いところでの画質をシャープでクリアにします。

トゥルー デイ&ナイト機能

昼夜を自動検出し、最適なIR-Cutフィルタに切り替えることで、カメラを最適な状態に設定します。

WDR/BLC/ACE/HLC

これは、強烈な逆光に対する補正機能です。逆光により、画像中、明るい部分と暗い部分の差が著しい場合に照度調整を使って、画像のバランスを保つための機能です。

Defog機能

霧や煙などの条件下での映像をより鮮明な映像にすることができます。

プライバシー保護

設置場所により、この製品は10箇所の異なったエリアで、プライバシーのためのマスキングをかけることが可能です。

## 業績の概要

### 主要経営指標の推移[日本基準](連結)

(単位:百万円)

	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3(予想)
売上高	259,189	273,327	306,853	408,487	425,566	440,000
営業利益	13,857	13,597	14,049	16,055	18,259	17,500
経常利益	14,754	13,910	14,737	16,478	18,935	17,800
親会社株主に帰属する当期純利益	8,523	7,472	8,847	9,410	10,350	10,500
総資産	173,393	202,562	218,456	263,540	285,438	—
純資産	47,621	75,864	81,522	93,632	102,354	—

### セグメント情報 (2017年4月1日~2018年3月31日)

#### トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、プロジェクト案件が順調に推移するとともに、既存施設における機器更新の需要も堅調に推移いたしました。  
以上の結果、売上高は98,064百万円(前連結会計年度比3.0%増)、セグメント利益(営業利益)は10,150百万円(前連結会計年度比2.6%増)となりました。

#### メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、新規SPD施設の立ち上げが順調に推移し、下期より機器更新需要が回復したこと等により、業績が堅調に推移いたしました。  
以上の結果、売上高は274,058百万円(前連結会計年度比4.0%増)、セグメント利益(営業利益)は4,161百万円(前連結会計年度比25.4%増)となりました。

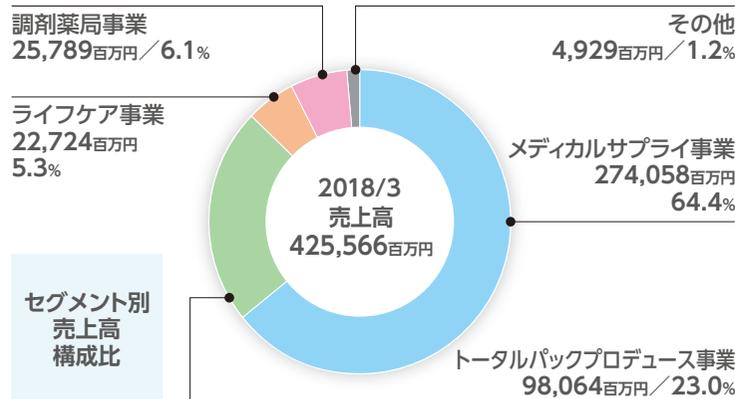
#### ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、入居率が改善することにより新規開設から間もない施設の業績が改善したこと、全国施設の一体型経営がさらに進んだこと等により大幅に収益が改善いたしました。  
以上の結果、売上高は22,724百万円(前連結会計年度比7.4%増)、セグメント利益(営業利益)は955百万円(前連結会計年度比50.5%増)となりました。

#### 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、継続的な業務改善の結果、経営効率が向上したことや、M&Aが奏功し、業績は順調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は25,789百万円(前連結会計年度比6.9%増)、セグメント利益(営業利益)は2,826百万円(前連結会計年度比23.7%増)となりました。



セグメント別売上高構成比

## 株式関連情報

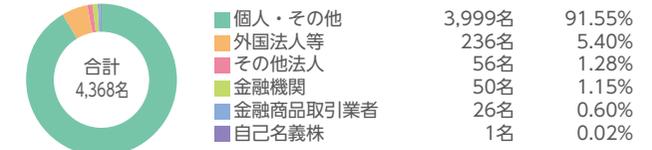
(2018年3月31日現在)

### 株式の状況

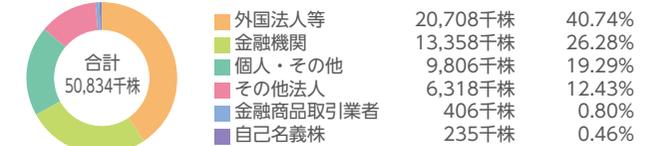
発行可能株式総数	64,000千株
発行済株式総数	50,834千株
株主数	4,368名

### 株式分布状況

#### 株式分布状況(株主数別)



#### 株式分布状況(株式数別)



※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

### 大株主の状況

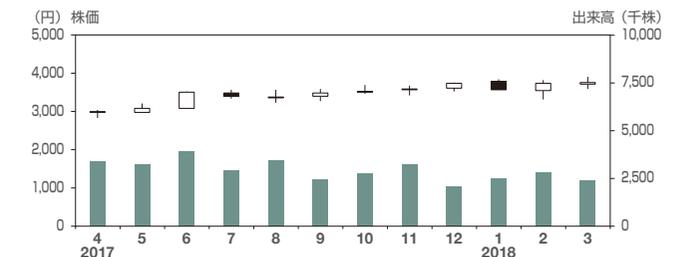
[保有株式数] [持株比率]

株式会社コッコー	3,988千株	7.88%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,216千株	6.35%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,652千株	5.24%
ORBIS SICAV	2,227千株	4.40%
春日興産合同会社	1,400千株	2.76%
古川 國久	1,236千株	2.44%
GOVERNMENT OF NORWAY	1,231千株	2.43%
古川 幸一郎	1,230千株	2.43%
全国共済農業協同組合連合会	1,046千株	2.06%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	998千株	1.97%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

※ 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 株価・出来高の推移



## 会社情報

### 会社概要 (2018年3月31日現在)

商号 シップヘルスケアホールディングス株式会社  
設立 1992年8月  
代表取締役会長 CEO 古川 國久  
代表取締役社長 COO 小川 宏隆  
資本金 155億5,301万円  
決算月 3月  
従業員数 連結 5,802名(正社員) 10,825名(従業員)  
本社所在地 〒565-0853  
大阪府吹田市春日3丁目20番8号  
TEL : 06-6369-0130  
FAX : 06-6369-3191

### 役員 (2018年6月28日現在)

代表取締役会長 CEO	古川 國久
代表取締役副会長	小西 賢三
代表取締役社長 COO	小川 宏隆
代表取締役副社長	大橋 太一
取締役副社長	沖本 浩一
専務取締役	増田 順行
専務取締役	小林 宏裕
常務取締役	横山 司澄
取締役	早川 泰雄
取締役(社外)	和田 義昭
取締役(社外)	佐野 精一郎
常勤監査役	細川 治
常勤監査役(社外)	岩元 廣志
監査役(社外)	中尾 秀光
監査役(社外)	大山 博康
監査役(社外)	大内 陽一朗

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで・・・

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号  
TEL : 06-6369-0130 (IR窓口) FAX : 06-6369-3191

URL (ホームページアドレス)

<http://www.shiphd.co.jp/>



## 株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日  
期末配当金受領  
株主確定日 3月31日  
定時株主総会 毎年6月中  
株主名簿管理人  
及び特別口座の  
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
2015年10月1日をもって特別口座の口座管理機関を  
変更しております。なお、株主名簿管理人については  
変更ございません。  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL 0120-094-777 (通話料無料)  
上場証券取引所 東京証券取引所  
公告の方法 電子公告によりおこなう  
公告掲載URL <http://www.shiphd.co.jp>  
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、  
その他のやむを得ない事由が生じたときは、  
日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



### For Foreign Investors

SHIP HEALTHCARE HOLDINGS, INC. provides English financial report produced by Shared Research Inc.  
Please check  
<http://www.sharedresearch.jp/en/3360>  
to view the report.

## アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまからいただいたご意見を誠実に受け止め、今後の経営及びIR活動に活かしてまいりたいと考えております。皆さまからの貴重なご意見をお待ちしております。なお、本アンケートを当社ディスクロージャーの充実以外の目的には利用しないことをお約束いたします。

### Q1 当社株式をいつ頃ご購入されましたか?

- ① 1ヶ月以内
- ② 2～5ヶ月前
- ③ 6ヶ月以上前
- ④ 1年以上前
- ⑤ 株式上場時(2005年2月)

### Q2 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。

- ① 中長期的に保有する
- ② 短期で考えている
- ③ 買い増しする
- ④ 投資収益に応じて売却する
- ⑤ 未定

### Q3 当社経営に関して、何を重視すべきと思われますか? (上位3点をお選びください)

- ① 規模の拡大
- ② ビジネスモデルの強化
- ③ 経営の効率化
- ④ 収益性
- ⑤ 安定性
- ⑥ 株主政策の強化
- ⑦ その他( )

### Q4 当社のIR活動に関して、何を重視すべきと思われますか?

- ① 株主通信
- ② ホームページ
- ③ 株主総会
- ④ 個人投資家向け説明会の開催
- ⑤ その他( )

### Q5 今回の株主通信でご興味を持たれた内容は何ですか?

- ① マネジメントメッセージ
- ② トピックス
- ③ CSR活動
- ④ 業績の概要
- ⑤ 株式関連情報及び会社情報

### Q6 今回の株主通信をどのようにご評価されますか?

- ① 大変満足している
- ② ある程度満足している
- ③ 普通
- ④ あまり満足していない
- ⑤ 不満である

### Q7 その他、ご意見・要望等をご自由に記入ください。